



しのざき えいいち
篠崎 栄一 さん（海老ヶ島）

本気で取り組むみなさんの笑顔に熱い思いがあふれていて家族で行ってみたいと感じました。

学校×地域 未来に向けたつながり

「五葉盆踊りは、学園の名を冠し、

「地域に根ざした学び」という理念を広く地域に伝えるために、新たに企画されたイベント五葉盆踊りが8月30日に開催されると知り、初開催に向けて奔走する五葉盆踊り実行委員会のみなさん取材しました。

令和6年4月に開校した明野五葉学園は、これからの時代を担う子どもたちの成長と、地域全体のつながりを育むことを目指して設立されました。柔軟な教育と地域と共に歩む学び舎として、多くの期待が寄せられています。

そんな五葉学園の「開かれた教育」、

「地域に根ざした学び」という理念を

広く地域に伝えるために、新たに企画

されたイベント五葉盆踊りが8月

30日に開催されると知り、初開催に

向けて奔走する五葉盆踊り実行委員

会のみなさん取材しました。

地域と子どもたちの未来をつなぐ 「五葉盆踊り」初開催



左から星宮さん、武井実行委員長、入山校長

世代や立場を越えて誰もが参加できる交流の場となることを目指した新しい地域イベントです。単なるイベントではなく、学園と地域の人々が心を一つにしてつくり上げるコミュニティ行事として位置づけています」と熱く企画の趣旨を語る実行委員長たけいゆかの武井豊さん。

また、寺上野地区の盆太鼓の継承者で、五葉盆踊りでは太鼓を担当する塚田清之さんつかだきよゆきは「地域の盆太鼓が年々縮小する中、このような形で次の世代に伝える場をいただけたことは本当にありがたいです。また、盆踊りは、もともと先祖を供養する大切な行事。その原点を忘れずに伝えていきたいです」と、変わらぬ文化への敬意にもじませました。

過去を敬い、今を楽しみ、そして未来へとつなぐ。

五葉盆踊りは、そんな想いを込めた地域の新たな夏の風物詩になりそうです。

みんなでつくる五葉音頭

今回の盆踊りのために新しく制作した五葉音頭は、五葉学園の入山いりやま校長が作曲し、詩は地域のひとたちと共に作り上げたものです。振付けは日本舞踊家であり、明野中学校の卒業生でもある星宮和希さんほしみやかずきが担当し、まさに「五葉学園らしさ」に満ちた盆踊りが誕生しました。

当日は、地域のみなさんからの協賛による提灯300個が夜を彩り、五葉音頭や明野音頭、伝統的な盆太鼓、地域の特産品を活かした屋台、よさこいソーランなど、多彩な催し

が予定されています。

準備には、五葉学園PTA、筑西市商工会、青少年育成市民会議など多くの関係者が協力。まさにみんなで作る盆踊りとして、着々と準備が進められています。

「まだ明野五葉学園に足を運んだことのない人も多いと思います。8月

取材を終えて

30日の五葉盆踊りをきっかけに、ぜひ多くのみなさんに来ていただけたらうれしいですね」と、入山校長は、穏やかな笑顔で話してくれました。

学校が地域と共にあること。それは、子どもたちの学びにも、地域社会の未来にとっても、非常に大切なことです。五葉盆踊りをとおして、地域の人々が世代を超えてつながり、支え合う温かなコミュニケーションが築かれていくことを願います。

「五葉盆踊り」

どなたでも参加できます。

▼日時 8月30日（土）

午後3時～8時

▼場所 明野五葉学園



詳しくはこちら

【問】五葉盆踊り実行委員会 武井

0801926516592



練習の様子は
こちら